

Myrmecocystus mexicanus

Wesmael, 1838



写真： Jake Nitta (froggy143), CC BY 4.0

メキシカンミツツボアリ

夜行性の砂漠のアリで、ふくらんだ働きアリが黄金色の壺のように天井からぶら下がり、コロニーの糖분을ためておきます。



ひと目でわかる情報



巣の温度

26–30 °C

巣の中



巣の湿度

40–60 %

巣の中



休眠

不要

結婚飛行

7月–9月

雨のあと



働きアリ

4–8 mm

大型働きアリは最大9 mm



女王

12–15 mm

女王は1匹



コロニーの規模

働きアリ5,000匹規模

成長速度：速い



脱走リスク

中程度

アウトワールドに脱走防止の対策をしましょう



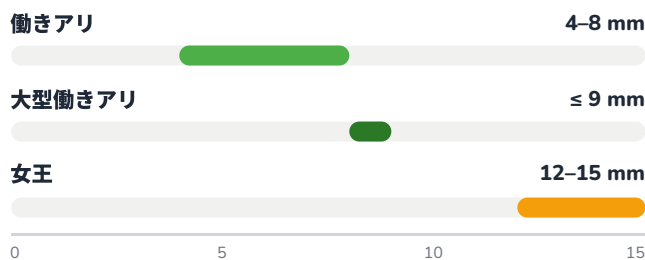
1年をひと目で



この種の実産地での月です。正確な日は天気で決まり、室内で飼育しているコロニーは別のリズムになることがあります。



同じ縮尺での大きさ



飼育の早見表

食べ物

砂糖

昆虫

おすすめの巣

- Ytongの巣
- 自然再現型のセットアップ
- アクリル製の巣

この評価の理由

- ✓ 完全閉鎖型：最初の働きアリが現れるまで、女王に餌は不要です
- ✓ 休眠の管理が不要です
- ⚠ 好奇心が強い働きアリなので、アウトワールドに脱走防止の対策をしましょう
- ⚠ 一年中、一定の暖かさがが必要です



飼育者からのメモ

ヒント

アリが場所を選べるよう、巣の一部だけを温めましょう。新しいヒーターは慎重に試してください。ある飼育記録では、ランプで女王アリが焼けてしまいました。そのうえで温度、湿度、餌を安定させましょう。経験豊富な飼育者は、コロニーは育つと同じ速さで崩壊しようと警告しています。

注意

貯蜜アリがぶら下がるよう、石膏、Ytong、コーティングした面など、ざらざらして丈夫な天井を用意しましょう。つるつるしたガラスやプラスチックはつかみにくく、落ちた貯蜜アリは自力で戻れないことがあります。振動や強い光はコロニーを落ち着かなくさせるので、巣は静かな場所に置いてください。